



認定看護師のご紹介

透析看護認定看護師 石川 弘子



透析看護認定看護師は、安全で質の高い透析医療の提供と、透析を受けながらの生活が、様々な制約を受けつつも最大限その人らしくあることを目指して活動します。また、透析看護の対象は、透析患者さんに限らず「透析回避を願う腎臓病の患者さん」、「透析が必要と宣告された患者さんや、その受け入れが困難な患者さん」など、腎臓病患者さん全般です。そのため、腎機能保護の教育的支援、透析療法に関わる具体的な情報提供や不安への対応などを重要な支援と考え介入します。看護師長の役割も持つ現在は、講義や実践を通して後進を育成し、患者さんが院内の様々な場面で質の良い腎・透析看護を受けることができるように努めていきます。

感染管理認定看護師 神津 文子



感染症というと、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどがありますが、感染症の原因となる細菌やウイルスなどは目に見えません。そのため対策を間違えたり、怠っていたりするとあっという間に感染症が広がってしまいます。こうした感染症から、患者さんやご家族、そして病院で働く医療スタッフを守るために活動するのが感染管理認定看護師の役割です。感染症から皆さんを守る活動としては、「感染症の早期発見」と「感染拡大の防止」、そして「感染予防」などがあります。

感染症は正しい対策が出来れば、それほど怖がることはありません。そしてスタッフはもちろん病院にいらっしゃる皆さまのご協力が感染拡大防止の力ぎとなります。これからも安心して安全な医療が提供できるように、感染防止活動を進めていきたいと思えます

皮膚排泄ケア認定看護師 相澤 宏実



皮膚排泄ケア認定看護師とは、褥瘡（床ずれ）やスキン・テア（表皮裂傷）、手術後の傷などの創傷管理、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）のケア、便や尿失禁などによるスキントラブル予防・改善などの排泄ケアを得意とした看護師です。

入院患者さんの創傷予防や創傷の早期治癒へ向け、医師や病棟看護師、薬剤師、管理栄養士など多職種と連携した褥瘡回診の実施、スタッフの知識や技術の向上を目的としてスキンケアに関する勉強会などを行っています。また、ストーマ外来・フットケア外来では、退院後も快適な日常生活を送れるようケア方法の確認や日常生活の指導・支援などを継続的に行っています。

糖尿病特定認定看護師 宮本 省三



糖尿病特定認定看護師は、糖尿病に関連する不安や生活背景を丁寧に聞き取り、個々に適した情報提供を行います。また、食事・運動療法の指導や血糖管理をサポートし、フットケアの実施を通じて合併症予防に努めるとともに患者さんやご家族に寄り添い、その人らしい生活が送れるよう支援します。

さらに、インスリン投与量の調整などの特定行為を実施し、迅速で適切な医療の提供を通じて病状の早期回復を目指します。加えて、スタッフ向けの教育や相談対応を行い、院内の糖尿病ケアの質向上にも取り組んでいます。今後は相談窓口の設置や教育体制の強化を進めていきますので、糖尿病管理に関するお悩みがあれば、お気軽にご相談ください。

緩和ケア認定看護師 鈴木 三栄子



緩和ケア認定看護師は、体や心のつらさを抱えている患者さんやご家族に対して、専門的な知識や技術を使い痛みなどの症状を和らげて、生活の質（QOL）を良くするためのお手伝いをします。

がん相談室では、治療や副作用についての相談はもちろん、人生の最期の時期のケアについての不安、悩みも安心してご相談いただけます。また、「将来の『もしも』の時に備えて、自分が望む医療やケアについて、家族や医療者と予め話し合っておくこと」：ACP（アドバンス・ケア・プランニング）のサポートも行っており、主治医とも連携しています。

予約優先ですが、当日でも対応できます。悩みを抱え込まず、どうぞお気軽にご相談ください。

【がん相談室】2階 ☎ 0297 - 72 - 5763



摂食嚥下障害看護特定認定看護師 片桐 有紀



2024年に摂食嚥下障害看護特定認定看護師の資格を取得しました。急な病気の発症や入院により、今まで通り口から食事摂取ができなくなってしまう患者さん、入院中に誤嚥性肺炎を発症してしまう患者さん、また近年では高齢化が進み、加齢に伴い嚥下機能の低下により食事摂取が困難となってしまう患者さんが多くいます。

そのため入院後早期より介入し、嚥下機能の評価や食事形態の見直し、口腔内環境の観察、口腔ケアなどを行い、どの年代の患者さんであってもより安全でおいしく食事摂取ができるように多職種と協働しながら日々活動していきたいと思います。ご相談等ございましたら気軽にお声掛けいただけますと幸いです。

集中ケア認定看護師 鎮目 祐子



集中ケア認定看護師の主な役割は、生命の危機状態にある患者さんの病状の変化を予測し、重篤化を予防すること、治療による活動の制約などで起こる廃用症候群（関節が動かなくなったり、床ずれや、肺炎など）の予防や早期回復できるよう支援することです。

看護師特定行為研修を修了しており、人工呼吸装着中の患者さんが安全に治療を受けられ、早期に人工呼吸器を外すことが出来るよう、お手伝いさせていただいています。HCUで勤務していますが、病棟からの相談を受け、対応させて頂いたり、HCUから病棟に移られた方の訪問をさせていただいています。また呼吸ケアサポートチーム、身体的拘束最小化チームの一員としても活動しております。

救急看護認定看護師 高橋 智子



救急看護認定看護師は、急な苦痛や不安を抱える患者さんにご家族に寄り添い、専門的な知識と高度な技術を活かして、症状の軽減と安心の提供に努めています。

救急外来では迅速な状況判断と的確な処置で命を守り、精神的なケアも行います。病棟では患者さんの急変や重症化を防ぎ、安全で安心な療養環境を整えます。また、院内トリアージの質向上に向けた教育・指導、災害時の医療体制の整備にも取り組み、地域医療への貢献も担っています。看護師への指導や教育活動を通じて救急看護全体の質を高め、すべての患者さんが安心して医療を受けられる環境づくりに、日々全力で取り組んでいます。

多発性筋炎・皮膚筋炎

膠原病・リウマチ内科部長 鈴木 文仁

●日本での患者数は

2万5千人程度

誰しも筋肉痛を経験したことはあると思います。その多くは使い過ぎや打撲など整形外科的要因によるものですが、免疫細胞の暴走により自身の筋肉組織が攻撃され炎症を起こすことで筋肉痛が生じることがあり、これを多発性筋炎と呼んでいます。筋肉とともに皮膚にも自己免疫的な炎症を起こす場合を皮膚筋炎と呼んでおり、いずれも指定難病の一つです。日本での患者数は2万5千人程度と推測されています。

この疾患は臨床症状から診断しますが、これに加え筋炎特異的自己抗体というこの疾患の方にのみ出現する血液中の抗体を確認することで、より細やかに区分することが可能となっています。代表的な抗体として抗ARS抗体、抗MDA5抗体、抗Mi-2抗体、抗TIF1- γ 抗体が挙げられ、この4つの抗体で75%の多発性筋炎・皮膚筋炎を拾い上げることが出来ます。

持続的な筋肉の炎症により疲れやすさ、二の腕や太ももの筋肉痛が生じ、さらには階段の上り下りや布団の上げ下ろしが困難となり、人によっては物を飲み込むことが出来なくなる場合もあります。自覚症状がない場合も血液中の筋肉の酵素（クレアチンキナーゼ）が上昇していることで発見される場合もあります。

皮膚症状は診断をする上で最も重要な手がかりとなり、関節伸側に「ゴットロン徴候」と呼ばれる赤い皮疹や手指に「機械工の手」と呼ばれる手荒れが出ることがあります。な

かには痛みのある潰瘍を形成する場合もあります。

●予後を左右するのは

3番目の臨床症状

この疾患の予後を左右するのは実は筋症状でも皮膚症状でもなく、3番目の臨床症状である間質性肺炎（自己免疫性の肺炎）ならびに癌（がん）です。

間質性肺炎は40%程度に合併し、上記4つの自己抗体のうち抗ARS抗体および抗MDA5抗体陽性の患者さんで見られますが、とりわけ抗MDA5抗体陽性の間質性肺炎は急速進行性であり、強力な治療にもかかわらず1年生存率50%程度でした。最近では治療の工夫により徐々に生存率が上昇しています。

癌の合併は上記4つの自己抗体のうち抗TIF1- γ 抗体陽性の患者さんで多く、消化器癌が多いとされています。当科では診断がついた時点で全員に癌のスクリーニングを行っています。また、疾患活動性がコントロールされていても途中から癌を発症することもあり、定期的な癌検診が望ましいと思われ（当院では人間ドックオプションで癌検診が可能です）。

治療はステロイド内服が中心ですが、ステロイド単独で活動性を抑えることは難しいことが多く、また長期の高用量ステロイド内服は副作用の懸念があることから、免疫抑制剤を併用することが多いです。重症の場合は大量ガンマグロブリン療法や血漿交換を併用する場合もあります。



膝頭に見られるゴットロン徴候



「機械工の手」と呼ばれる手指の荒れ



抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎で見られた間質性肺炎

全国厚生連栄養士協議会 全国統一献立

おすすめ郷土料理

神奈川県

サンマーメン

令和7年3月21日の昼食に
患者さんにお出ししました



横浜発祥のあんかけラーメンです。中華料理店のまかない料理として食べられており、戦後にメニューとして神奈川県全土に広まったと言われています。

材料 1人分

・茹中華麺	180 g
・豚こま肉	40 g
・もやし	10 g
・白菜	10 g
・にら	10 g
・人参	5 g
・乾燥きくらげ	1 g
・たけのこ水煮	10 g
・油	4 g
・醤油	4 g
・塩	0.5 g
・片栗粉	9 g
・ごま油	3 g

A

・鶏がらスープ	300 g
・醤油	20 g
・酒	15 g
・オイスターソース	6 g
・塩こしょう	少々

作り方

- ① 鍋にAの材料を合わせて沸かす。
- ② きくらげはたっぷりの水で戻し、食べやすい大きさに切る。白菜、人参、たけのこは細目の千切りにし、にらは4cmの長さに切る。
- ③ フライパンに油を引き、豚肉と②の具材を炒める。水130ccともやし、醤油、塩を加えてひと煮たちさせたら、水溶き片栗粉を入れてとろみをつけ、仕上げにごま油を回し入れる。
- ④ 器に茹で麺と①のスープを合わせ、上から③のあんをかけたら完成。

1人分の栄養価

エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	食塩相当量 (g)
498	21.5	17.1	5.7

齋藤クリニック



院長 齋藤 隆晴

診療科目 一般内科・消化器科・外科・泌尿器科・肛門科
皮膚科・整形外科・小児科

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00～12:00	○	○	○	休	○	○
午後	15:00～18:00	○	○	○	休	○	休

休診日 木曜日・土曜日午後・日曜日・祝日

連絡先 〒301-0004
龍ヶ崎市馴馬町602-7
☎ 0297-64-3527

当院は、関東鉄道竜ヶ崎線竜ヶ崎駅より徒歩約3分のクリニックです。

龍ヶ崎市に開院して地域の皆さんに支えられて25年以上になります。

私は、勤務医の時も、外科医としての専門性を高めるとともに、患者さんにとって必要な様々な疾患の治療にも積極的に従事してきました。内科系・外科系の診療科の枠にとらわれずに、

小さなお子様からご高齢な方まで年齢問わず、問診や診察にも最善をつくして、お気軽にご相談いただけるクリニックづくりを目指しています。

近隣にあるJAとりで総合医療センターには大変お世話になっており、緊急を要する患者さんも即座に受け入れていただいています。これからもよろしくお願いいたします。

助産師便り



当院でお産した方からのメッセージ

- 先生、助産師さん、関わって下さる全ての方がいつも笑顔で親身になって下さり、不安な事などなんでも聞けて、JAで出産できて本当によかったです。
- 元々違う産院での出産予定でしたが、急遽JAさんでお世話になりました。分娩の時に立ち会ってくださった助産師さんが入院中に「出産お疲れ様でした。いきみ方がとても上手でしたよ!」と話しかけてくださったり、母乳や赤ちゃんの相談、私の体調など気にかけてくださったりと安心して過ごすことができました。担当してくださった先生もとても丁寧で安心できました。入院中に今後の赤ちゃんのお世話の仕方を教えてくれるスケジュールになっていたりと、とてもいい時間を過ごせたなと思いました。2人目産むことがあれば、またこちらの病院でお世話になりたいと思う程、本当にありがとうございました。



令和7年度入会式を挙行

～ 富満院長が新採用者76名に辞令を交付～



4月1日に令和7年度の入会式が新棟3階講堂で行われました。式では、医師等の幹部職員が紹介された後、新採用者76名（医師37名、看護部職員29名、コメディカル10名）全員の名前が呼ばれ、登壇した代表者に富満院長から辞令が交付されました。

入会式に続いて院長講話がありました。

富満院長は、毎日の仕事を振り返り次の対策を考えることを積み重ねていけば仕事が楽しくなっていくと講演しました。また「相手を思いやる言葉づかいや行動を心掛け、自分の出来ることを精一杯やってあげて優しい病院にしていきましょう」と呼びかけました。

出前講座、昨年度は13回実施



転倒予防の出前講座

地域の皆様が元気で暮らせるように、病気や加齢による影響などについて情報提供するため、当院では10年程前から出前講座を行っています。2024年度も公民館等で13回実施し、合計で383名の皆様が参加されました。

テーマは転倒予防や認知症予防、口腔ケア、小児関連などです。また、一昨年からは当院が主催して「JAとりで健康講話」も開催しています。

出前講座をご希望の場合は早めに当院の広報室、佐藤へお願いします。日程やテーマのご希望を伺い、講師の都合などを確認してご返事いたしますので宜しくお願いいたします。

出前講座についてのご連絡先

☎ 0297-74-5551 広報室 佐藤

麻疹疑いの方は来院前に電話を

近隣で麻疹患者が複数発生しています。感染拡大を防止するため、次の様な症状がある場合は、まずは管轄の保健所へご連絡をお願いします。

当院を受診される場合は、来院する前に、必ず電話で連絡をお願いいたします。受診方法についてご案内いたします。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

JAとりで総合医療センター
電話 0297-74-5551 (代表)

麻疹について

- ・麻疹ウイルスによって感染します。
- ・感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染です。感染力がきわめて強く、1人の患者から12～14人が感染すると言われています。
- ・潜伏期間：10～12日（最大21日）
- ・症状：【カタル期】発熱、鼻水、目脂、結膜充血、咽頭痛、コプリック斑（頬の内側に白い斑点）
【発疹期】 顔面頸部 → 体幹四肢へ広がる
【回復期】 色素沈着がしばらく残る



祝日の月曜日の一部を開院します

今年度、祝日の月曜日の一部を開院します。
全ての診療科で平日の月曜日と同じ診療、検査を行う予定です。
外来受診の際にご注意いただくようお願いいたします。

開院日 2025年 7月21日（月）
8月11日（月）
11月24日（月）
2026年 1月12日（月）



「JAとりで通信」のアンケートにご協力をお願いします

右のQRコードからアンケートを開きお答え頂くようお願いいたします。



今月の表紙

認定看護師は、専門性を発揮した質の高い看護を提供します。これにより、病院内外の患者さんおよび、地域の方々の健康な生活を支援します。